

市立奈良病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床試験を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

| | |
|-------------------------|--|
| 研究課題名 | CT perfusion における時間強度曲線(Time Enhancement Curve: TEC)の違いが虚血コア及びペナンプラの解析結果に与える影響 |
| 当院の研究責任者 | 所 属：放射線室 責任者：肥後谷 瞬 |
| 他の研究機関および各施設の研究責任者 | なし |
| 本研究の目的 | <p>急性期脳梗塞治療の発展は目覚ましく、静注血栓溶解療法や機械的血栓回収療法による再灌流療法により脳梗塞患者の転帰が改善します。また、発症から治療までの時間が短いほどその治療効果が高まります。急性期脳梗塞の診断には CT もしくは MRI による画像評価が必須であり、近年では急性期脳梗塞の診断に対して CT Perfusion の有用性が多数報告されています。CT Perfusion は、ヨード造影剤を注入し、脳の血管の評価だけでなく、脳の循環動態を把握する検査です。CT Perfusion は脳の血流障害を迅速に評価し、虚血性領域（コア）と救済可能な領域（ペナンプラ）を識別するのに役立ち、治療方針の決定に重要な情報を提供することができます。当院でも2021年10月にCANON社製の医用画像処理ワークステーション Vitrea にCT Perfusion 解析アプリケーション「4D Brain Perfusion」が導入されました。</p> <p>4D Brain Perfusion に対する有用性や撮影条件を評価した研究はありますが、TECの違いが解析結果に与える影響を評価した報告はないため、当院で撮影した症例に対して仮想的に TEC を変更して解析結果の評価を行います。</p> |
| 調査データの該当期間 | 2021年10月から2024年6月まで |
| 本研究の対象及び方法 (使用する試料等) | <p>I. 対象</p> <p>2021年10月から2024年6月までに、当院CT装置である Aquilion ONE/PRISM Edition でCT Perfusion 検査を施行し、Vitreaによる解析を施行した症例を対象とします。</p> <p>II. 方法</p> <p>すでに施行されたCT画像をもとに読み込み枚数を任意で変更して、解析結果を比較します。医療用画像管理システム(PACS)、画像解析アプリケーションに保存されているデータから画像解析（画質評価を含む）を行い、その</p> |

| | |
|----------------------------|---|
| | <p>際に、患者背景(年齢、性別、体重、背景など)についても可能な限り評価します。</p> <p>検討項目</p> <p>撮影された画像の読み込み枚数を任意で変更して、仮想的に TEC を変更した場合の解析結果を評価します。</p> |
| <p>試料・情報の 他の機関への提供</p> | <p>なし</p> |
| <p>個人情報の取り扱い</p> | <p>収集した情報は、名前など患者様を特定できる情報は除いて匿名化いたしますので個人が特定できる情報が外に漏れる可能性はございません。また、研究成果が学会や学術雑誌などで発表される予定ですが、発表内容に個人が特定できる情報は一切含まれません。</p> |
| <p>本研究の資金源 (利益相反)</p> | <p>本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。</p> |
| <p>お問い合わせ先</p> | <p>TEL : 0742-24-1251</p> <p>担当者 : 肥後谷 瞬、前原 健吾</p> |
| <p>備考</p> | <p>本研究は過去に施行された検査を後ろ向きに検討するのみであり、患者様に新たな検査や費用の負担はありません。また研究の対象となる患者様に対しての謝礼もありません。</p> |